

新建北海道支部主催建築セミナー

「小樽の木骨石造建築について～その歴史と構法を学ぶ～」のご案内

開催日：2022年9月3日（土）13:30～15:30 * 受付13:00より

* 参加費は無料です

講師：駒木定正 氏 北海道釧路市生、1974年近畿大学理工学部建築学科卒業
大阪と北海道で高校教員を歴任、1990年北海道職業能力開発大学校講師
助教授・教授・特任教授を歴任、博士（工学）
2017年北海道職業能力開発大学校特別顧問、一級建築士
駒木定正建築史研究所・代表、小樽市文化財審議会会長

昨年は小樽の歴史と北海製罐第三倉庫をテーマに、駒木先生に講演を依頼し道外を含め40名の皆様に参加をいただきました。

今回の企画は、今年のセミナーで紹介された「木骨石造^{もっこつせきぞう}」建築をテーマにその歴史と構法を掘り下げ学ぶ企画です。

1992年の調査では、小樽市内で、外壁が石造の建物384棟の内345棟(89%)がこの「木骨石造建築」であることが確認されています。余市にあるニッカウキスキー工場も同じ構法ですが、この建物は昭和初期、小樽は明治期の建築が多く、時代の流れを追いながら建物の特長について紹介されます。

また、「木骨石造建築」は、全国各地で建築されています。木骨石造建築のルーツをどこまで探ることができるか課題はありますが、新潟や鹿児島など全国各地の事例も紹介する予定です。

なお、当日はZoomによる開催です。どなたでも参加できる企画です。ぜひご参加下さい。



左は小樽運河沿い海側に並ぶ、木骨石造の倉庫、右は木骨石造建物の内部を改修した北一硝子「店舗内」木骨石造建築は、内部の木組構造体を外壁の石造部分にカスガイで固定し一体化した構法です。

【参加申し込み】

氏名、所属（勤務先等）明記の上、下記の新建北海道支部事務局へメールにてお願いいたします。当日の参加に必要なZoomミーティングのURLをお送り致します。

主催：新建築家技術者集団 北海道支部

Mail : oohashi@beige.plala.or.jp

FAX:011-726-8990 TEL011-726-8988 (有)大橋建築設計室内